



産業協力・企業間交流セミナー “ポスト” ナザルバエフ時代を展望する3つの視点 ～政治・経済・石油～

令和元年11月15日
(一社)ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、このたび当会では、経済産業省の助成を受け、掲題セミナーを2019年12月10日(火)に開催致します。

旧ソ連でロシアに次ぐ産油国であるカザフスタンでは本年3月、独立前の1990年からその地位にあったヌルスルタン・ナザルバエフ大統領が突如辞任、6月実施の選挙で後任にカシムジヨマルト・トカエフ前上院議長が選出されました。しかし、ナザルバエフ氏には「初代大統領」兼「エルバシ(国民の指導者)」としての特権が法的に認められており、功績をたたえて首都「アスタナ」が同氏のファーストネームである「ヌルスルタン」に改称されるなど、依然として強い影響力を持ち続けていることは明らかです。大統領の交代により、カザフスタンでは何が、何が、変わったのでしょうか？

本セミナーでは、カザフスタンより政治、経済、そして同国を支える石油産業の各分野より気鋭の専門家を招き、其々の視点から大統領交代後のカザフスタンの現状を分析、将来を展望していただきます。さらに、議論を深めるため、我が国におけるカザフスタン政治研究の第一人者でおられる北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの宇山智彦教授をコメンテーターとしてお招きしました。

カザフスタンについての理解を深めるまたとない機会となると存じますので、参加ご希望の方は、別紙2「申込み用紙」にご記入のうえ、**12月5日(木)まで**にFAX(03-3555-1052)またはE-mail(central-asia@rotobo.or.jp)にてお申し込みください。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

- ◆日時： 令和元年12月10日(火) 10:00～12:30
- ◆場所： 如水会館 3階「松風の間」
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 TEL:03(3261)1101(代)
<https://www.kaikan.co.jp/josui/access.html>
- ◆主催： (一社)ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)
- ◆内容： 別紙1参照
- ◆言語： 日露同時通訳
- ◆定員： 80名(先着順)
- ◆申込〆切： 令和元年12月5日(木)
*ただし定員に達し次第、締め切らせていただきますのであしからずご了承ください。
- ◆参加費： 無料
- ◆問合せ： (一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 (担当: 輪島、森、斉藤)
TEL:03-3551-6218 FAX:03-3555-1052 E-mail: central-asia@rotobo.or.jp

産業協力・企業間交流セミナー

“ポスト” ナザルバエフ時代を展望する3つの視点 ～政治・経済・石油～

プログラム

2019年11月15日現在

時間	プログラム
09:30-10:00	レジストレーション
10:00-10:05	<ul style="list-style-type: none"> ■ モデレータ開会挨拶 輪島 実樹 (一社) ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 研究交流部長
10:05-10:05	<ul style="list-style-type: none"> ■ 報告
10:05-10:35	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「カザフスタンにおける権力の“移行”あるいは“半移行”～課題、リスク、そしてチャンス」 D. サトパエフ Kazakhstan Risks Assessment Group 代表
10:35-11:05	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「中程度の石油価格下のカザフスタン経済～傾向と課題と展望」 V. ドドノフ カザフスタン共和国大統領付属戦略研究所 (KISI) 主任研究員
11:05-11:35	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「カザフスタンの石油～神の祝福か、あるいは呪いか」 O. チェルピンスキー 『Petroleum』誌 編集長
11:35-11:45	<ul style="list-style-type: none"> ■ コメント 宇山 智彦 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授
11:45-12:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 質疑応答
12:00-12:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ 閉会、ネットワーキング (名刺交換等)

■ □ ■ 報告者紹介 ■ □ ■



ドシム・サトパエフ (Dossym SATPAYEV)

中央アジアおよびカスピ海地域の政治・経済リスク分析を専門とするカザフスタンの民間調査分析機関「Kazakhstan Risks Assessment Group」代表、政治学博士。TV・新聞等国内メディアに頻繁に登場し分析を披露、在野の論客として知られる。近著に『カスピ海資源ブームをめぐる課題: 国内エリートとポリシー・メイキング』(2012)、『トワイライトゾーン: 移行期の罫』(2013)等。



ビャチェスラフ・ドドノフ (Vyacheslav DODONOV)

カザフスタン共和国大統領付属戦略研究所 (KISI) 主任研究員、経済学博士。国内外で250本を超える論文を発表、政府機関・企業体による多数の研究への参加実績、国際会議・フォーラムへの参加、報告経験をもつ。主な研究対象は株式市場、ポートフォリオ管理、世界経済、経済危機、国家経済規制、マクロ経済等。近著に『現在のグローバル・ファイナンスシステム構造におけるラストクライシス』(2014)、『日本の経済成長変化の財政的要因』(2017)等。



オレグ・チェルピンスキー (Oleg CZERWINSKI)

2000年にアルマトイで創刊したカザフスタン石油・ガス分野の代表的なビジネス専門誌『Petroleum』編集長。同国独立後初の石油・ガスメディア『カザフスタンの石油・ガス』誌の創設者兼編集長。カスピ海地域の石油・ガス問題の専門家として分析・論評を新聞等国内・海外メディアで発表。カザフスタン・ジャーナリスト連合メンバー、カザフスタン・ジャーナリズムアカデミー会員。近著に『カザフスタンの黒血: 独立のオイル・ヒストリー』(2017)等。

(一社)ロシア NIS 貿易会
 ロシアNIS経済研究所 宛て (担当: 輪島、森、斉藤)
 FAX: 03-3555-1052 / E-mail: central-asia@rotobo.or.jp

産業協力・企業間交流セミナー
“ポスト” ナザルバエフ時代を展望する3つの視点
～政治・経済・石油～

12月10日(火) 10:00～12:30 *12:00～は名刺交換等、ネットワーキング

参加申込書

締切日: 12月5日(木)

*ただし、定員になり次第〆切らせていただきます。

会社・団体名			
	(英語)		
部署・役職			
	(英語)		
氏名			
	(英語)		
TEL		FAX	
E-mail			
◆事前に講師に質問があれば、誰宛かをご明記のうえ、以下にご記入ください。			

